

シバキープⅢ粒剤

実際に使用する際は必ず商品ラベルをよく読み、記載内容に従ってお使いください。

まきすぎに注意：まきすぎは薬害が出るおそれがあるので必ず使用量を守る。

植えつけ後の使用注意 芝生：植えつけ後1年以内や根切り作業後3カ月以内は使用しない。

ジャノヒゲ：植えつけ後6カ月以内は使用しない。

高温時の使用注意：気温が30度以上になる真夏日が続く時期や異常乾燥時には使用しない。

弱っているときは注意：芝生・ジャノヒゲが弱っている場合は使用しない。

西洋芝には使用しない。

農林水産省登録 第24296号

農薬の名称 シバキープⅢ粒剤

農薬の種類 メコプロップPカリウム塩・DBN粒剤

成分

- ・メコプロップPカリウム塩・・・・・・・・1.0%
[(R)-2-(4-クロロ-*o*-トリルオキシ)プロピオン酸カリウム]
- ・DBN・・・・・・・・1.0%
[2,6-ジクロロベンゾニトリル]
- ・鉱物質微粉等・・・・・・・・98.0%

性状 類白色細粒

散布上のポイント

- ・**雑草の生える前から生えはじめに散布**してください。雑草が大きくなりすぎると効果が出にくくなります。
- ・観賞用ジャノヒゲに使用する場合は**薬剤散布後、ジャノヒゲの葉をなでて、葉の上に乗った粒を必ず地面に落とす**てください。そのままにしておくと薬害が発生する可能性があります。

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※
日本芝 (こうらいしば)	一年生雑草	芝生育期 雑草発生前～ 雑草発生初期	20～40g/m ²	全面 土壌散布	本剤、 メコプロップ P 及び DBN を 含む農薬 3 回以内
	多年生 広葉雑草	芝生育期 雑草発生初期	30～40g/m ²		
	スギナ				
日本芝 (のしば)	一年生雑草	芝生育期 雑草発生前～ 雑草発生初期	20～40g/m ²		
	多年生 広葉雑草	芝生育期 雑草発生初期			
観賞用ジャノヒゲ	一年生雑草	ジャノヒゲ生育期 雑草生育初期	20g/m ²		

※は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

- 日本芝（こうらいしば、のしば）に使う場合：雑草の発生前から発生初期に、1 m² 当たり 20～40g を均一に土壌に落ちるように散布します。こうらいしばの中に生えたスギナへは 1 m² 当たり 30～40g を散布します。
- 鑑賞用ジャノヒゲ（リュウノヒゲ）に使う場合：雑草の生育初期に、1 m² 当たり 20g を均一に土壌に落ちるように散布します。**ジャノヒゲの葉の上に乗った粒は必ず払い落としてください。**

効果・薬害等の注意

- 雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、こうらいしば及びのしばでは雑草発生前～雑草発生初期に、観賞用ジャノヒゲでは雑草生育初期(草丈 10 cm 以下)に均一に散布する。
- 高温期や異常乾燥時には注意する（薬害）
- 植え付け後や更新作業後の根が傷んでいる時期には使用しない（薬害）
- 西洋芝は枯れるので使用しない（薬害）
- **観賞用ジャノヒゲの葉に付着した薬剤は払い落とす。葉が濡れている時は使用しない（薬害）**
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。

- 飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 空容器、空袋等は放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。

安全使用上の注意

- 皮ふに付着しないように注意。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす（弱い刺激性）
- 散布時は、農薬用マスクなどを着用する。作業後はうがいをする。【マスク着用マーク】
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。

保管・・・・・・・・密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。